



5. 商品別省エネ家電の選び方・使い方の説明はこのように

# 温水洗浄便座（暖房便座含む）

## 省エネルギーについて

温水洗浄便座には、「貯湯式」と「瞬間式」があり、一般にはお湯を貯めて保温しない「瞬間式」の方が消費電力は小さくなります。ただし瞬間的に大きな電力を必要とするため独立の電源が必要になる場合があります。

温水洗浄便座は、洗浄機能、脱臭機能、乾燥機能、部屋暖房機能、節電機能など種々の機能があり、節電機能を除き一般的には多くの機能を有する機器の消費電力は大きくなります。

温水洗浄便座の省エネには、使用していない時間や気温の低い冬場以外の電力を抑えることが必要です。

**貯湯式**  
タンクの中に貯められた水をヒーターにより温める方式で、一度にたっぷりのお湯で洗浄することができますが、お湯を保温するための電力が必要となります。

**瞬間式**  
タンクを持たずに、水を使用の度に瞬間湯沸器で温める方式です。温水を保温する電力は不要となるため、「貯湯式」より消費電力は小さくなりますが、洗浄するお湯の量が限られることと、瞬間的に大きな電力を必要とするため、独立の電源が必要となる場合があります。

## 温水洗浄便座における省エネラベルの示す内容



**省エネ基準**  
 ・ 目標年度：2006年度  
 ・ 達成率算出方法  
 $X = EM / E \times 100$   
 X：省エネ基準達成率（%）  
 E：エネルギー消費効率（kWh/年）  
 EM：基準エネルギー消費効率（kWh/年）

・ 基準エネルギー消費効率

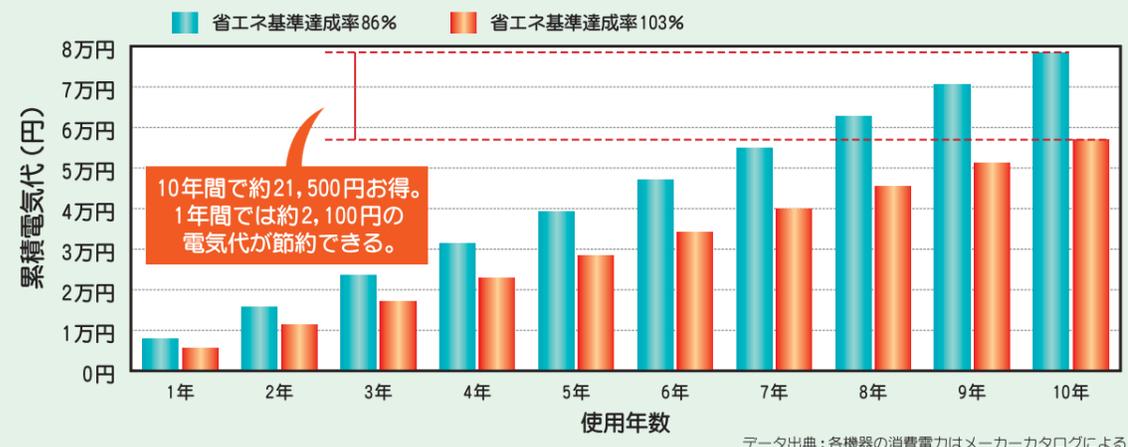
**暖房便座**  
 EM = 162 (kWh/年)

**温水洗浄便座**  
 （貯湯タンクのあるもの）  
 EM = 38.3 × L + 243 (kWh/年)  
 L = 貯湯量 (L)

## 省エネ効果の高い温水洗浄便座はこんなにもお得

省エネ基準達成率103%の温水洗浄便座（貯湯式）を10年使い続けると、達成率86%のものに比べ電気代は約21,500円お得になります。

C社の省エネ基準達成率103%と86%の温水洗浄便座（貯湯式）の使用年数と累積電気代の比較



## 省エネ基準達成率86%と103%の温水洗浄便座の比較

	年間消費電力 (kWh/年)	10年間の電気代 (円)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg)
① 達成率86%	357	78,540	1,349
② 達成率103%	259	56,980	979
差 (②-①)	-98	-21,560	-370

・ 消費電力は上記と同様。  
 ・ 電気代は22円/kWhと設定。  
 ・ CO<sub>2</sub>排出量 (0.642kg/kWh：電力9社の火力発電のCO<sub>2</sub>原単位)  
 ・ 樹木CO<sub>2</sub>吸収量 (kg-CO<sub>2</sub>/本・年：50年もの杉、樹高22m、直径26cmとして：地球温暖化防止のための緑の吸収源対策、環境省/林野庁より)

温水洗浄便座たった1台でも、50年もの杉約3本のCO<sub>2</sub>削減量に匹敵します！

## 商品を選める上でここをよく押えましょう！

- 家庭における温水洗浄便座の使い方や希望する機能など、条件をよく把握しましょう。
- 温水洗浄便座も「省エネラベリング制度」の対象機種です。上記の条件を踏まえ、省エネラベルを活用して要望にあった商品の省エネ程度を説明し、省エネ基準の達成度が高い商品を選びましょう。
- 省エネ機能が付いている機種を選びましょう。
- 今、使っている製品があれば、最新機種と比べてどのくらい省エネで、結果的に電気代がどの程度安くなるかを説明しましょう。

## 省エネ効果を発揮させるため上手な使い方を教えましょう！

- 温水洗浄便座の省エネは、気温の高い季節や使用していない時の対応が重要です。
- 便座の放熱をふせぐため、使用していないときは便座のふたを閉めましょう。
- 季節にあわせて便座暖房の温度調節や洗浄水の水温調節をこまめに行いましょう。
- 便座ヒーターについてもタイマーを上手に使い、長期間使わない時はコンセントからプラグを抜きましょう。